

JVCシニアクラブ便り 2010年4月号 (No.22-3)

発行: JVC シニアクラブ
会長: 菅沼 喜久次

■ご挨拶

4月後半、新緑の候とはいえ東京では41年ぶりに季節外れの雪に見舞われましたが、皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

新政権への大きな期待を担ってスタートした鳩山内閣の現在の迷走ぶりには、ほとほと嫌気をさしている方が多いのではないでしょうか。郵政改革、子供手当支給には多くの異論がありながらも断行し、その一方で政治とカネの問題にけじめをつけず、普天間移設の決着は全く混沌とした状態となっています。

日本は二大政党政治に向かうかと考えられていましたが、野党としての自民党も政府を鋭く追及することが出来ず、第三極となる新党の発足ブームとなっています。日本の将来がどうなるのか心配する方も多いかと思います。

ところで、あるメディアの調査では日本は「世界に良い影響を与えていた国」で2番目との結果を得ました。

例年この調査で日本は高順位を保っています。私たちそれがしっかりととした自覚を持って前向きに行動していくことが大切でしょう。

■国会見学会と懇親・懇親会を開催しました

4月8日(木)、42人の参加者を得て国会見学会(参議院)を開催しました。今回は議事堂内の見学だけではなく、津田やたろう参議院議員が委員として出席している「厚生労働委員会」の傍聴も行なうことができました。委員会は国会本会議に上程される各種の法案をそれぞれの立場で審議するところであり、いわば立法府としての議員と行政側(こちらも大臣・政務官などの議員)との生のやり取りを聞くことが出来ます。

この会場への一般者の入場には、持ち込み可能な所持品の制限を含めて成田空港よりも更に一段と厳しい検査を経る必要がありました。

当日の委員会は4時間を超える長丁場でしたが、私たちの傍聴は20分程度と限られた時間です。その場では具体的な内容について理解するには短い時間でしたが、答弁する行政側のしっかりととした対応を感じました。

委員会を終了した津田議員から時局講演を頂き、その委員会の内容について説明がありました。このあと、会場を移した交流会で会員相互の懇親を深めました。



議事堂正面で記念撮影

■NHK 見学会を開催しました

1月、2月、3月と3回に分けて神奈川支部、東京支部、茨城支部でNHK見学会を開催しました。

これはNHK退職者協議会(N 退協) の計らいにより開催されるもので、番組制作のチーフプロデューサから制作の裏話を聞いたり、毎週火曜日夜8時から生放送される「歌謡コンサート」の直前リハーサルも見ることが出来ます。

今まで20~30人単位で行なわれていた見学会ですが、今年はNHKの都合により1回の参加者を10人程度とすることとなり、3回で合計30人が参加しました。

東京支部では参加者10人の内、7人が初めてのNHK見学ということでしたが、この行事を通じて新たに3人がシニアクラブに加入する事になりました。写真はN退協新田顧問を交えての懇談会に参加した茨城支部の皆様です。



■トピックス：アイスランドの火山噴火

新聞やテレビで盛んに報道されていますが、この噴火によって欧洲の空港が軒並みクローズされてしまいました。そのため、空港で足止めを喰らって、そこで寝泊りせざるを得ない多くの人達がいるようです。貨物などの物流にも影響が出て、社会・経済に及ぼす影響は甚大なものがあります。

今年の春は天候不順で、野菜が高騰。各家では暖房用の灯油も買い足さなければならぬなど、ただでさえ余計な出費に追われているところに追い討ちをかけるような今回の噴火ですが、今年が冷夏に見舞われないように願うところです。

■事務局から

今回の国会見学会では津田事務所の秘書の方には大変お世話になりました。津田議員は私たちが所属したJAMの組織内議員です。ものづくりの現場をよく知る津田議員は、これからも私たちの代表として国政の場で物申す存在となつてもらわなければなりません。今夏に予定される参議院選では再選を果たさせるべく皆様のご協力を宜しくお願ひいたします。

前回のシニアクラブ便りに同封しました「津田やたろう サポーター エントリーカード」は会員230名中65名のエントリーがありました。今からでも遅くはありません、登録カードと返信封筒をお持ちの方は今すぐ記入し投函ねがいます。

尚、国会見学会の際に傍聴した委員会の様子は参議院インターネット中継で詳しく見ることが出来ます。ネットにアクセスできる方は次のURLからご確認下さい。<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>【4月8日の厚生労働委員会】

蛇足ですがその中で、委員会後半のタイムコード【01:27:01】に質問者から答弁者にカメラが切り替わる際、傍聴席に座る私の顔が一瞬登場します。

事務局長 田代 周